



学校だより

〈編集・発行〉
鹿児島県立
皆与志養護学校



一年を振り返る今思うこと



校 長 岡山 博子

今年度も、あとわずかととなりこの一年を振り返る時期となりました。本校の児童生徒にとっての『生きる力』の1番目の視点に「健康を保持増進する力」をあげていますが、今年度、長期の欠席や大きなけがをする児童生徒がいなかったことが一番の喜ばしいことだったと思います。日々の指導の在り方を本校児童生徒の『生きる力』の視点「周りの人やものに興味・関心をもち、働きかけようとする力」・「自分のもっている力を発揮して表現したり、理解したりする力」・「生活を楽しもうとする力」にどのように迫っていたかをそれぞれの授業の中で検証し、子どもたち一人一人の学習の成果として成長の姿をしっかりと捉えることができた一年であったと思っています。この成長を心から喜び、職員一人一人が愛情ある絶え間ない研修意欲をもって、真摯に向かいあった結果として受け止めています。

さて、今年度も皆与志養護学校中学部を3人の生徒が卒業していきます。そして、鹿児島養護学校へ進学することになります。皆与志養護学校での小学部・中学部・高等部の一貫した指導体制の中で高等部へ送ることができないことを大変残念で心苦しく思っております。歴代の校長先生方もおそらく、この時期には同じような思いがあったのではないかと拝察します。初代校長であった海野廣壽校長先生が当時の職員の方々へ語られていた『燃えよ。耐えよ。続けよ。』という言葉の時折思い出しては、皆与志養護の子どもたちにとってよりよい生き方につながる教育の在り方を複雑な思いで改めて考える時期でもあります。

本校の経営の基調に「人間は、本来よりよく生きたいという願いをもっている存在であり、その願いを常に児童生徒の側に立って実現の方向に支援する」を掲げています。障害の重い子どもたちにとってよりよい生き方への支援をどのようにしていくか。皆与志養護学校がなすべき大きな課題であります。高等部へと進学する子どもたちのよりよい生き方へつながる成長を心から願い、また、本校職員の一人一人の指導力や人間性を結集した、一丸となった小学部・中学部の教育の在り方を今後もしっかりと見定め、学校経営に取り組んでいかなければならないと考えています。



〇〇 〇〇さん



音楽やお話を聞くことが好きな〇〇さん。中学部でもよく見てしっかり聞いて、友達と仲良く元気に過ごしてくださいね。

小学部 5 名

〇〇 〇〇さん



音楽に乗って体を動かしたり歌ったりすることが大好きな〇〇さん。中学部でも友達と一緒に好きなことを増やしてね。

〇〇 〇〇さん



素敵な笑顔が魅力的な〇〇さん。4月からは中学生。元気に過ごして、毎日の学習やスクーリングで“〇〇スマイル”を披露してね。

〇〇 〇〇さん



中学部からは通学生。名前を呼ばれると手を振ってニコニコ笑う〇〇さんです。みんなとの学習や遊びを存分に楽しんでください。

新しい旅立ちに
寄せて

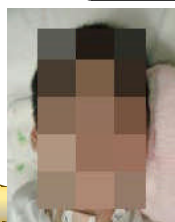
中学部 3 名

〇〇 〇〇さん



〇〇さんといえば大きな笑い声。周りにはいつも楽しい会話があふれていたね。高等部でも笑い声を響かせて下さいね。

〇〇 〇〇さん



「大きくなったね」とみんなから言われる〇〇さん。中学部でもスクーリングにたくさん行って、好きなことをもっと増やしてくださいね。

〇〇 〇〇さん



体験入学を経て、希望する進学先を自分で決めた〇〇さん！友達をたくさん作って、いろいろなことにチャレンジしよう！がんばれー！

〇〇 〇〇さん



皆与志では、友達や先生と賑やかな学校生活を送ることができました♪高等部でも☆キラキラかなスマイル☆で頑張ってください。Fight!

つくし学級の様子

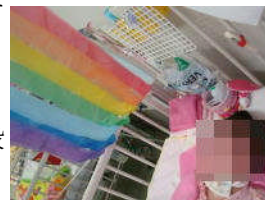


つくし学級には小学部5名、中学部1名の児童生徒が在籍しています。学校に隣接する「やまびこ医療福祉センター」に教師が出向いて、毎日学習しています。授業は、病棟内や学校でのスクーリングで1単位（40分）～2単位時間の学習を週に6単位時間、個々の体調に合わせて行っています。学習内容は自立活動を中心に、個別や合同で歌遊びや感触遊び等に取り組んでいます。児童生徒が好きな学習の中に「に遊び」があります。1学期は学校に咲いている花、2学期は焼き芋、3学期はチョコレートなど、季節や行事に関連した物のおいしさをみんなで楽しみました。

各病棟で行われる始業式や終業式では、校長先生や教頭先生方からたくさん声を掛けられ、いろいろな表情で応える様子が見られます。また、スクーリングでは、学校で行われる学部集会や運動会、学習発表会等に参加し、学習の場を広げたり、多くの友達や先生とかかわったりすることができるように心掛けています。



これからも、一人一人が生き生きと活動でき、すてきな表情がより多く見られるような学習を、設定していきたいと思っています。



教材・教具



毎年恒例の自作教材・教具作品展示発表会を行いました。やまびこ医療福祉センターのリハビリテーション部からも参加をいただき、よい研修の場となりました。発表されたものの中から、いくつか紹介します。



ハンドベル



オーシャンスイング



玉入れ



居住地校交流



今年度は3名の児童生徒が居住地校交流を行いました。〇〇〇〇さんは今回初めて小山田小4年生と交流し、友達の歌、合奏を聴きながら手足を動かすなどうれしそうな様子がたくさん見られました。「男の子も女の子も優しく手を握ってくれました。時々愛月から手を出す場面もありビックリ。同世代の迫力ある友達の声や演奏を聴き刺激を受けることができたと思います。」（保護者の感想より一部抜粋）

〇〇〇〇さんは武岡中との交流が今年で3回目で、今回は選択音楽グループと交流し、聞き覚えのある音楽でリラックスしながら楽しめたようです。特別支援学級でのホットケーキ作りでは、楽しい雰囲気とおいしそうなにおいに、手の動きも活発になり笑顔も多く見られました。

子どもたちは交流を通して、同世代の友達と活動しながら、楽しさや喜びをともに感じる事ができたことと思います。



平成23年度児童生徒会のあしあと



会長の〇〇さん、副会長の〇〇さんと〇〇さん、役員の〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さん、〇〇さんの8人体制で一年間活動しました。全校集会の準備・運営をはじめ、様々な場面で重要な役割を担っていました。特に、みんなの前に立ち、大きな声で司会や発表ができるようになった姿はとても印象的でした。みんなのために頑張った役員の皆さん、ありがとうございました。



平成23年度学校便り最終号の発行となりました。子どもたちは、一年を通していろいろな学習や行事を経験し、それぞれに成長してきました。更に今後、どんな一面を見せてくれるか期待しています。発行に当たっての御協力ありがとうございました。

広報係一同